

# 評 価 基 準

評価項目		評価の視点	配点
業務 提案 内容	理解度	本業務の目的、実施条件、内容の重要度等、本業務の趣旨を理解した提案となっているか。	20
		こども基本法等の法令や国の最新の動向に基づく提案となっているか。	
		当市における現行計画の分析と課題の整理を行い、今後の方向性を見据えた重点的取り組みや施策の提案がされているか。	
	実態 把握 調査	調査対象や調査方法は説得力があり、計画策定にどのように活用するか等、効果的な手法について提案がなされているか。	30
		当市の子ども・子育て支援事業計画、子どもの貧困対策推進計画、子ども・若者育成支援計画を一体的に捉え、現状や課題、特徴を捉えた効果的な調査項目が設定された提案となっているか。	
		子どもや子育て家庭等からの様々な意見を聴くための具体的な実態把握方法、意見聴取の手段等の提案がされているか。	
	計画 策定	アンケート回答者に配慮された調査表のレイアウト、回答しやすい設問等、回収率を向上するための工夫や提案がされているか。	30
		実態把握調査の結果を正確に判断し、需要量の推計、適切な目標値の設定など、次期計画策定に反映された提案となっているか	
		これまで当市で策定した子ども・子育て支援事業計画、子どもの貧困対策推進計画、子ども・若者育成支援計画の内容、各計画の位置づけを正しく理解し、当市の子育て支援施策や事業計画を分かりやすく知ってもらうための計画策定となっているか。	
		子どもや子育ての家庭等の意見等を反映させる計画策定となっているか。	
構成 デザイン	子ども・子育て支援事業計画、子どもの貧困対策推進計画、子ども・若者育成支援計画と整合性、一体となった計画体系となっているか。	10	
	利用者に対して見やすく分かりやすいデザイン、計画体系の構成が工夫されているか。		
独自提案	企画提案者独自のノウハウや強み、専門性を活かし、当市の子育て支援施策に有効な提案がされているか。	20	
工程表	本業務スケジュールは、実現性・妥当性のある提案となっているか。	10	
業務 実施 体制	サポート体制	本業務に支障のない適切な人員配置、法令や国の動向、他市の事例などの情報提供、計画策定における助言や子ども・子育て会議等の運営を円滑に行えるサポート体制となっているか。	15
	予定責任者・担当者の 業務実績	子ども・子育て支援事業計画、子どもの貧困対策推進計画、子ども・若者育成支援計画の策定支援の業務の実績があるか。経験や実績等は妥当であるか。	
	地域精通度	過去10年間で、静岡県内での業務実績（件数）があるか。	
プレゼン テーション	資料作成力	提出書類やプレゼンテーションの資料が分かりやすく、整理されているか。	5
	説得力	事業説明は論理的で分かりやすく、説得力があるか。	
見積内容	費用対効果	見積額が事業内容に対して妥当であるか。	5
業務見積額	見積金額	税込みの見積金額を比例配分方式により評価 5 - (Z - Y) ÷ (X - Y) × 5 【X = 委託料上限額 Y = 最低見積額 Z = 評価対象見積額】	5